

合同ゼミの感想と反省

唐鎌千浩 河野亮 久保達也 佐藤浩介
青木美緒 朝倉美衣 狩野智美

1. 合同ゼミの準備に関する感想と反省

私たちは、静岡茶について調べました。お茶に関する資料をたくさん収集しましたが、それらをどうまとめるかに苦労しました。また、プレゼンテーションするにあたり、聞き手に静岡茶の現状を一目で知ってもらう為に、分かりやすいグラフを多く作りました。正確な数値を出すことによって、聞き手に納得してもらう事が大切だと思いました。

最も難しいと思ったことは、静岡茶の将来性の部分です。調べれば調べるほど、国内のお茶産業のライバルである鹿児島茶の追い上げの記事が多く、静岡茶の将来性についての記事があまり見つからなかったのにとっても苦労しました。

2. 当日の報告内容とそれに対する質疑の概要

私たちは「静岡茶～ヨーロッパ市場で売れる静岡茶づくりへ～」というタイトルをつけ、プレゼンテーションしました。国内のお茶産業全体、そして静岡茶、国内ライバルである鹿児島茶の現状を、資料を基に作成したグラフを使い発表しました。また静岡茶の将来性として、ヨーロッパ進出の例を用いて発表しました。

具体的なプレゼンテーションの流れは、以下の通りです。

- ① 主な日本茶の紹介
- ② 国内マーケット
- ③ ライバル(鹿児島茶)の追い上げ
- ④ 静岡茶と鹿児島茶の比較
- ⑤ 静岡茶の将来性
- ⑥ 世界進出

質疑では、静岡茶の決定的な強みは何か、他の日本茶との違いや特徴はあるのか。また、アジア圏への輸出はないのかについて質問されました。

3. 合同ゼミに対する感想と反省

私たちは、市場データや鹿児島茶の比較で、データによって静岡茶現状を分かりやすくまとめました。きちんとしたデータを提示して聞き手に納得をしてもらうことが大切だと思ったからです。その点はうまく出来、良かったです。自分たちでインターネットや書籍で調べるだけでなく、審査員の方からの講評にもあったように、静岡のキーパーソンにヒアリング調査を行ったり、お茶関連の業界団体にお話を伺ったりすれば良かったです。

(文責 狩野)